

2012年を振り返って・・・



年末恒例『今年の漢字』は！？

2012年の世相を表す年末恒例のイベント「今年の漢字」が京都の清水寺にて発表されました。

今年は『金』が選ばれました。

『金』が選ばれた主な理由として、ロンドン五輪でのメダル獲得数が史上最多になったことや、京都大学・山中教授がノーベル賞を受賞するなど多くの“金”字塔が打ち立てられた他、金環日食が観測されたことなどが挙げられたそうです。



日本史上最多のメダル数38個！！

2012年、最大のイベントといえば『ロンドン五輪』日本選手の雄姿が、たくさんの元気・感動を私達に与えてくれました。なかでも女性選手の活躍が印象強く、女性の強さが改めて感じられる大会だったと思います。

近年、女性の社会進出が目覚ましく「女性の男性化」「男性の女性化」などと表現されています。ビジネスにおいても、今後、新しい目線でのアプローチが求められる時代に入っていると確信しています。(従来の女性像・男性像に捉われない柔軟な発想が大切)



“総選挙”変わる？日本

2012年12月16日(日)に行われた衆議院総選挙。当初の予測通り自民党の政権奪還にて幕を閉じる結果となった。

一方、第一党であった民主党は大敗を喫するという結果・・・要因としては、およそ三年半前に大きな期待を受け政権交代が成されたが、国民が満足する政治には至らず・・・大きな反発を受けたという見方が強い。「復興問題」「領土問題」「景気の低迷」・・・様々な問題が山積している今こそ、国民のための政治を真に実行して頂きたいと思います。

新年明けまして、おめでとうございます。



旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のエステ業界も他の業種同様に「売上が伸びない！集客がままならない！収益が上がらない！」など、大変厳しい一年だったと思います。

その要因は一体何処にあるのでしょうか？

リーマンショックが起因している。東日本大震災の影響がまだまだ強く続いている・・・

確かにこの2つが、日本経済を大きく揺るがした事は間違いないと思います。

しかし、本当にそれが主たる要因なのでしょうか？

私はこのエステ業界の不況と厳しい現状は別な事由で、起こるべくして起こったのではないかと考えています。

それは日本のエステティックがビジネスとして歩き始めて約40年。

その道筋の中で消費者(生活者)にエステティックの持つ本来の力、役割がきちんと理解され認知されて来なかったことに大きな原因があるのではないかと考えています。

創始期の頃は「痩せる・しみを取る・永久脱毛」といったコンプレックス産業としてイメージされ、尚且つ高額チケットを売り込まれると警戒され、問題業種として一般に伝わった経緯もあります。そして、その後は「究極のリラクゼーションだの、ご褒美エステ」といった抽象的な風評に乗り歩いてきた現実があります。何故か本来のエステティックが持つ力や正しい利用の仕方が伝わらず、もっと身近で必要とされる在り方が40年の時を経て伝えられなかった事が、今日の現実を生み出してしまったのではないのでしょうか・・・

お客様はエステティックに何を求めて来られるのか？エステティシヤンの“手”で何が出来ると継続してサロンに通って頂けるのか？この原点をお客様に日々の中で発信し、それに沿ったメニューと効果・結果をもたらして来れたのか、そのところをしっかりと出来なかったツケが、景気低迷の中で一層のサロンの厳しい環境を起してしまった要因なのではないのでしょうか。

エステティック業界の「黎明期」は来るべくして来たのだと考えます。

我々は今、個々の事実にはっきりと目を見据え、サロンのコンセプトの見直しと、メニューや技術がそのコンセプトに沿って行われているのか、又お客様にそれをきちんと伝える会話や指導が現場で行われているのかを、もう一度見直すことが急務なのではないのでしょうか。

サンクでは長年の経験と多くのサロン様から頂いた情報を基に、サロン分析・メニュー開発、そして技術指導や集客手段をサロン様個々にオートクチュールにアドバイスをさせて頂きたいと考えております。共に切磋琢磨し、喜びも苦しみも共有して参りたいと存じます。本年もご一緒に歩かせて下さい。

宜しく願い申し上げます、新年年頭のご挨拶とさせていただきます。

